

【平成28年度 新野高等学校 学力向上プラン】

重点課題	重点目標	評価指標（活動計画）	評価	
学力向上と学習習慣の確立	（全体レベル） 1 授業力の向上 ① 学習意欲の向上をめざし、指導法の改善に積極的に取り組み、よく分かる授業の実践に努める。 ② 基礎・基本を重視した教科指導を行い生徒一人一人の能力・適性の伸張を図る。 （下位組織レベル）	評価指標 I 実力テスト（1・2年）の国数英の合評価において、年間でD3ゾーンの生徒を0にする。 II 基礎・基本の確認テストにおいて、各年次の目標正答率と目標達成人数割合の実現をめざし、教科指導を進める。 III 授業指導力の向上を図るため、公開授業及び相互参観期間を年2回以上実施する。生徒の授業満足度を80%以上にする。	評価指標による達成度	総合評価 評価
	I 学習習慣の確立により、家庭学習時間を確保する。	活動計画	活動実施状況	
	II 指導法の改善に努め、教科指導力の向上を図る。	I ①定期考査、校内実力テスト前に学習計画表を作成し、実行する。 ②週末課題を作成し、提出状況を評価に反映する。 ③各科目で年間指導計画を活用し、各単元における到達度の確認のため、効果的に小テストを実施する。		
	III 基礎・基本の知識・技能の定着を図る。	II 同一教科のみならず、他教科間においても相互に授業参観を行うことにより、授業力の改善に努める。 III ①「朝の学習タイム」で基礎・基本のプリントを実施し、学習習慣をつけさせる。 ②確認テスト実施前には、基礎カドリルでの反復学習を行い、確認テスト不合格者には再テストを行う。また、テストの保管と解説の再読を指導する。		